

再発行：訂正あり

# NEWS RELEASE

【報道関係各位】



2022年9月29日  
一般財団法人 日本気象協会

## 2022年第1回「紅葉見頃予想」 ～全国的に気温高く 見頃は全国的に平年並みか遅め～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は2022年9月29日（木）に、第1回「紅葉見頃予想」を発表します。

日本気象協会の天気予報専門メディア「tenki.jp（てんきじゅーぴー）」では、全国の紅葉名所764地点の紅葉情報の提供を開始します。また、今年から紅葉名所の見頃予想と2週間天気予報を合わせた「紅葉見頃カレンダー」を公開します。紅葉狩りの予定を立てる際に、ぜひお役立てください。



※モミジマークのない箇所は「色づき前」または「色あせ始め」を表します。



### 【主な紅葉スポットの見頃時期】

地 方	予想見頃時期	
	早いところ（主要地点）	遅いところ（主要地点）
北海道	10 月前半(阿寒[滝見橋]、日勝峠)	10 月後半（定山溪、支笏湖温泉）
東北	10 月前半(岩手県犬倉山、秋田県真瀬溪谷)	11 月前半（宮城県秋保大滝、福島県滝川溪谷）
北陸	10 月前半(新潟県笹ヶ峰高原)	11 月後半（富山県二上山公園、福井県萬徳寺）
関東甲信	10 月前半(長野県乗鞍高原)	11 月後半（東京都六義園、箱根強羅公園）
東海	10 月後半(岐阜県付知峡)	11 月後半（静岡県寸又峡、三重県伊勢神宮）
近畿	10 月後半(兵庫県福知溪谷)	11 月後半（京都府嵐山、大阪府万博記念公園）
中国・四国	10 月後半（広島県三段峡、香川県金刀比羅宮）	11 月後半（広島県宮島、岡山県岡山後楽園）
九州	10 月後半（大分県九酔溪、宮崎県五ヶ瀬溪谷）	12 月前半（大分県高崎山自然動物園）

### 【全国各地の紅葉見頃予想】

紅葉の見頃は、秋（9～11月）の気温が低いと早まり、高いと遅れます。9月の気温は全国的に平年より高くなりました。この先も、東日本と西日本は10月、北日本は11月にかけて平年より気温が高い傾向が続く見込みです。朝晩の冷え込みが強まる時期が遅れると予想され、今年の紅葉見頃時期は全国的に平年並みか遅くなるでしょう。

### 【各地の紅葉見頃予想】

#### ■北日本（北海道・東北）

各地の紅葉の見頃は、平年並みか遅いところが多いでしょう。10月前半には寒気の影響で冷え込みが強まり、色づきがようやく進みそうです。その後の気温は、11月にかけて平年より高いでしょう。

各地の紅葉の状況は、上川郡上川町の層雲峡紅葉谷や、宮城県・秋田県・岩手県にまたがる栗駒山などで既に色づき始めており、まもなく見頃を迎えるでしょう。札幌市の定山溪や青森県の奥入瀬溪流、山形県の最上峡では10月後半、岩手県の中尊寺や、福島県の滝川溪谷では11月前半、宮城県の松島では11月後半に見頃を迎える見込みです。

#### ■東日本（関東甲信・北陸・東海）

各地の紅葉の見頃は、平年並みか遅いところが多いでしょう。今後はしばらく高温傾向が続きますが、11月以降は内陸や山沿いを中心に朝晩は冷え込む日が増えるため、色づきが進む見込みです。

各地の紅葉の状況は、長野県の乗鞍岳や、富山県の立山ロープウェイで既に色づき始めており、まもなく見頃を迎えるでしょう。栃木県の日光(いろは坂)や長野県の上高地は10月後半に、東京都の国営昭和記念公園や埼玉県の上野、岐阜県の白川郷は11月前半、東京都の高尾山や福井県の萬徳寺、静岡県の寸又峡は11月後半に見頃を迎える見込みです。

#### ■西日本（近畿・中国・四国・九州）

各地の紅葉の見頃は、おおむね平年並みでしょう。今後の気温は、10月後半まで平年より高い傾向が続きますが、11月以降は平年並みとなる見込みです。内陸部や山沿いでは朝晩は冷え込む日が次第に増え、紅葉の色づきが徐々に進みそうです。各地の紅葉の状況は、岡山県の奥津溪、広島県の三段峡、宮崎県の五ヶ瀬溪谷で10月後半に見頃を迎える見込みです。滋賀県の奥比叡・延暦寺境内、奈良県の奈良公園、鳥取県の大山では11月前半、京都府嵐山や、山口県の毛利氏庭園では11月後半に見頃を迎えるでしょう。



【tenki.jpの紅葉情報】

カエデ・モミジ類の紅葉名所（673 地点） : 色づき状況の実況、「紅葉見頃予想」

カエデ・モミジ類以外\*の紅葉名所（91 地点） : 色づき状況の実況

※イチョウ、ダケカンバ、ブナ、ケヤキなどの色づく樹木

【tenki.jp「紅葉情報」へのアクセス方法】

パソコン : <https://tenki.jp/kouyou/>

タブレット・スマートフォン : <https://tenki.jp/lite/kouyou/>

本情報の無断での法人利用（プレスリリースでの引用や販促目的使用など）はご遠慮いただいております。商品 PR など法人利用をご検討の際はお問合せフォーム (<https://www.jwa.or.jp/contact/>) からご連絡をお願いします。

- ・「tenki.jp」は日本気象協会と ALiNK インターネットの共同運営です。
- ・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標（登録第 6129427 号）です。
- ・製品名、サービス名などは一般に各社の商標または登録商標です。



## 【2022年 紅葉見頃予想に関するよくあるご質問】

日本気象協会の紅葉見頃予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：紅葉見頃予想の発表のスケジュールは？

A1：今年は3回発表を行います。第2回は10月13日(木)、第3回は11月2日(水)に発表予定です。

A2：紅葉の見頃に気温はどのように影響しますか？

Q2：紅葉の見頃は、秋(9～11月)の気温が低いと早まり、高いと遅くなります。

Q3：日本気象協会の紅葉見頃予想の特徴は？

A3：気象庁各気象官署の過去の紅葉や気象の観測データを用いた、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q4：「紅葉の見頃」の基準は？

A4：カエデの木の大部分の葉の色が紅色になった状態です。日本気象協会の「紅葉の見頃」は、気象庁が制定している「生物季節観測指針」における紅葉の基準に基づき、「カエデの木の大部分の葉の色が紅色になった状態」としています。

Q5：日本気象協会の紅葉見頃予想の手法は？

A5：気象庁が観測している、各地の過去の紅葉と気温のデータとの相関関係を調べ、日本気象協会が独自に予測式を作成しています。その式をもとに各地の2022年の気温の観測値や予測値を参照し、日本気象協会が割り出しています。

Q6：紅葉見頃予想に使うデータは？

A6：紅葉の見頃の予測手法として、気象庁が観測している各地の過去の紅葉・気温のデータと、日本気象協会が予測する各地の今後の気温のデータを使用しています。気象庁の過去の観測データがあるのはカエデとイチョウですが、日本気象協会では過去のデータがより多く存在するカエデを対象としました。

Q7：標高の高い場所での紅葉の見頃は？

A7：標高の高いところでは、その地域の見頃予想よりも早く紅葉の見頃となると予想されます。

Q8：紅葉見頃予想はどこで見られる？

A8：日本気象協会公開コーポレートサイト(<https://www.jwa.or.jp/>)や、天気予報専門メディア『tenki.jp』(<https://tenki.jp/>)にて無料で公開しています。

Q9：紅葉見頃予想は海外でも利用することができますか？

A9：紅葉は、広く世界中の方々に楽しんでいただきたい日本の季節現象です。海外での法人利用に関するお問い合わせに関しては、お問い合わせフォーム(<https://www-ga.jwa.or.jp/contact/english/>)へご記入いただければ、利用方法など担当者からご連絡いたします。